

日本政府国際広報誌 “We Are Tomodachi” での発信

- 「理解しやすく、対外説明に利用しやすい」がコンセプト。
- 「政府が伝えたいこと」と「読み物」を半々とし、「機内誌」をイメージして読み飽きない内容に。
- 日本の魅力から各種政策まで、幅広い情報をカバー（クールジャパンについても発信）。
- 政府公式英文ウェブサイト「JapanGov」内にWe Are Tomodachiページを設置（累計約67万PV）。
- 電子書籍としてウェブ上での提供（e-book形式の閲覧とPDFでのダウンロードが可能）が中心。
- 印刷物も準備し総理、閣僚の出張時に海外で配布するなどして展開中。
- 年6回程度の発行。英語に加え、西語、仏語でも展開。
- 一層の拡散を目指して、Amazon Kindleストアで世界7か国に配信（2014年7月28日配信開始）。



電子書籍・TV等での発信

電子書籍“Highlighting JAPAN”での発信

- 政府の重要施策に関連する取組やトピックス等について、幅広い読者を対象に毎月、政府広報オンライン英語版で発信。
- 政府の成長戦略や各府省からの広報希望等を踏まえて、毎月の特集テーマを設定。テーマに関する政策等を、各府省の担当者・有識者へのインタビューや、個別の取材記事等により多角的に掘り下げて紹介。

(特集事例)



2016年4月：
日本のサブカルチャー



2016年6月：
文化財建造物の活用

TV等での発信

【番組による発信】

- 現地の映像や担当者のインタビュー等を含むTV番組を製作・放送することで、日本の魅力等を分かり易く発信。
- 技術・食・観光など幅広くテーマを選定。

(事例：米国公共放送PBSで日本特集番組製作協力)



(本年4月放送)

【動画による発信】

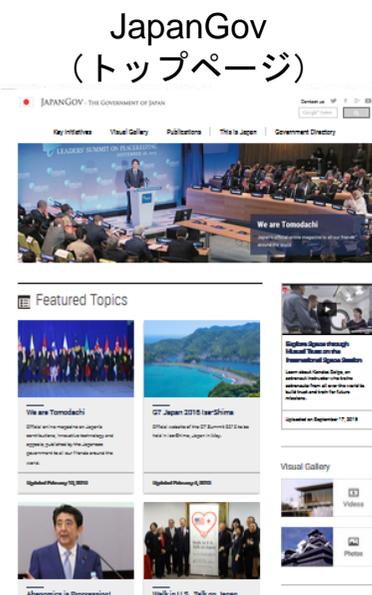
- 60秒等の短尺動画で日本の情報・イメージを発信。
- TVCMやSNSにより発信・拡散。
- 素材は官邸youtubeページに格納。



政府公式英文サイト「JapanGov」での発信

政府公式英文ウェブサイト/アプリ

- 政府公式英文ウェブサイト「JapanGov」の運用を開始(2014年11月～)。政策から観光、日常的な情報まで幅広く網羅するポータル機能を提供。クールジャパンを含む文化的な情報も発信。
- 無料の日本政府公式アプリ「JapanGov App」により、増加するモバイル端末ユーザーへの情報発信を強化。



f 政府公式英文Facebook

- 政府公式英文Facebookを2014年4月に開設。
- 世界遺産や日本食、クールジャパンなど日本の魅力をアピールするソフトコンテンツを中心に、各種政策等も紹介するなど、幅広く発信。
- ページへの「いいね！」数は、2016年9月21日現在で **148万件**。

www.facebook.com/JapanGov



 政府公式英文Twitterも同時に運用。